

田島じゅん

新道りゅういち

尾花あきひと

渡辺こういち

田中かずたか

原田よしあき

小池ゆうや

令和4年度がスタートしました。春の議会では市の当初予算(年間計画)を審査。新年度は、**感染症や経済対策と共に、コロナ禍 一定の収束可能性も見据えた計画が必要**です。時代は転換点にあり、気候変動・行政のデジタル化・活力ある地方づくり・少子化対策等に向け「地域こそが主体的に取り組むべき」という認識のもと、チェックと提案を行いました。コロナ禍を経た新たな時代も、同志会は「**生活実感のある政策主体の骨太議会**」「**県・国と連携し地域の声を届ける**」「**現在市民の要望と 将来市民の選択肢の両立を目指す財政運営**」を軸に、持続可能なまちづくりに取り組んで参ります。

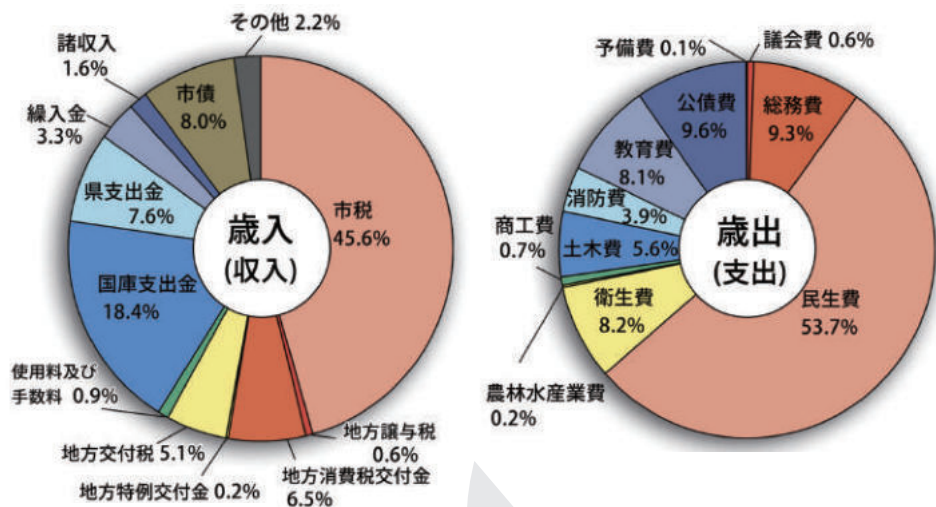


上尾同志会の R4 予算に
対する質疑内容はこちら



解説!! 令和4年度予算の構造 「通常モード」に復旧【歳入歳出 総額 696 億円】

コロナ禍の税収減を予測し一部事業を見送った R2・3 年度は、結果的に予測ほどの税収減となりませんでした（全国的な傾向）。コロナ影響が見えづらい時期に市が歳入を厳しく見積もった判断は危機管理上誤りではないと考えますが、同志会は昨年決算の際「年度が閉まってから過去最大の余剰金が出た」点に言及し、「年度当初の予測と実際の収入がズレた場合、余剰金を年度内に明らかに（補正）しないと次年度予算編成時の財源化に間に合わない」点を指摘。これを受け今回は庁内で早期の補正計上等が伝達され新年度の財源確保に繋がりました。結果、R4 年度当初予算は「通常モード」に復旧。私達が問題視してきた市の緊急用貯金も基準値まで積み足しが実施され、今任期から議会が導入した「決算提言⇒予算編成」のサイクルが有効に機能したといえます。



令和4年度歳入歳出の内訳

予算審査 同志会の視点

質疑・要望した主な内容

- ① コロナ禍が2年経過する中で施策の検証を問い「臨時交付金等で補助する業種の選定に偏りが出ている可能性」を指摘。国からの交付金の残枠を使い新年度に追加で補助事業を行う場合、困窮者把握の方法を改善するよう要請
- ② ワクチン優先接種業種を拡充するよう要望し、市は対応する方針を答弁
- ③ 医療従事者への国・県の補助制度の情報提供等、医師会への協力強化を要望
- ④ 自宅療養者が出すゴミからの感染予防策として処理業者へのサポートを要望
- ⑤ 感染症対策課の負担軽減のため全庁的な応援体制を要請
- ⑥ DXの外部アドバイザーの公正性担保を要請
- ⑦ 国土強靱化と無電柱化の一体化を提案
- ⑧ 学校ICT化やいじめ対策の強化を要望
- ⑨ ゼロカーボン施策の具体化を要請

予算執行にあたって 今後のポイント

市民や議会からの要望が多数反映された一方で、**市長選前に急遽公約化された施策の将来影響等は今後の注視が必要です**。「ゼロカーボンシティ宣言」は現状具体性に欠けており、全体像の早期提示や地域全体での推進が求められます。DXも市民福祉に直結するかの視点でチェックを行って参ります。市長選前に急遽見直しが表明された「**学校施設更新計画**」は新年度に再策定が行われる事となります。同志会からの「**偏りのない市民の意見聴取を行うべき**」との要望の反映が示されていますが適正な実行とともに、**公共施設全体の更新計画も改めて検証が必要**と考えます。上尾市は人口が微増を維持し、数年前の予測とは状況が変化しています。人口予測が困難だからこそ、柔軟な都市設計や世代間のバランスを考えた判断が求められます。執行を注視しつつ要望を行いますので、是非お声をお寄せ下さい。

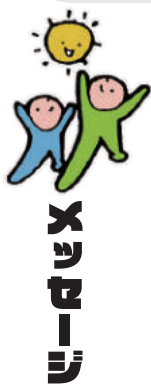


同志会の 提案が実現したもの

- ◆ 新型コロナ対応 自宅療養者支援（衛生用品や物資を支援）
- ◆ 中小企業サポートセンター運営
- ◆ 市内公共施設にWi-Fi環境を整備
- ◆ 市役所業務の棚卸しで業務最適化へ
- ◆ 災害時の市の業務継続計画を策定
- ◆ 河川監視カメラ新設(原市沼川)
- ◆ 空き家の除去に最大50万円の補助
- ◆ 民間保育園の新規開設
- ◆ 子ども食堂等への助成

- ◆ 周産期相談窓口の予算拡充
- ◆ 学力調査テストの答案を返却方式に
- ◆ 幼・保・小の連携強化の研究委嘱
- ◆ 脱炭素シナリオ検討の長期目標策定
- ◆ 環境センター長寿寿命化工事の事業者選定
- ◆ 上尾・伊奈のゴミ処理共同化計画の策定
- ◆ 西宮下中妻線整備事業(無電柱化)
- ◆ 上平公園の照明をLED化
- ◆ 小中学校の業務改善 教職員の負担軽減
- ◆ 学校施設更新計画の再策定(市民への意見聴取)
- ◆ 地域防災計画・国土強靱化計画の策定
- ◆ 民間保育所にICT機器を導入
- ◆ 企業版ふるさと納税による歳入確保策
- ◆ 上平球場の命名権導入で歳入確保策

- ◆ 商店街活力再生推進補助金を広く商業者グループまで拡大
- ◆ 各種団体への財政支援を復活
- ◆ 通学路の安全対策、注意喚起の標識やグリーンベルトの整備
- ◆ 各地域道路改良や交差点の安全対策、耐震水道管の敷設
- ◆ 上尾駅西口歩道(自転車通行道含む)整備
- ◆ 小泉土地区画整理組合跡地「寺東公園」整備工事着手へ



3月末、国会でウクライナ大統領のオンライン会見が開かれました。核保有国のロシアによる国際法を無視した暴挙に対し、国際社会の結束した対応を求めるとともに、我が国の対応に感謝を表す心を打つ内容でした。日本の近隣にはロシアをはじめ、台湾への野心を隠さない中国、核実験を続ける北朝鮮があります。今の憲法で国民の生命・財産を守るのか、真剣に考える時が来ています。憲法調査会も動き出しており「存立の危機は明日にでもくる」覚悟で取り組んでいきたいと思ひます。



国の新年度予算による地域事業をご紹介します。上尾市への交付税をはじめ、コロナ対策の財源や今後首都高入口の新設も予定されている新大宮上尾道路の大幅拡充(上尾南～野間)、荒川の堤防整備や原市沼川の治水対策、電線地中化等を中心に、各市議から頂いてきた地域の情報や要望が反映されています。自民党として国と市議会の連携をさらに強化し、コロナで疲弊した地域経済の立て直しと、日常を取り戻すため、邁進して参りますので、ぜひ皆様のお声をお寄せ下さい。



しんどう りゅういち

新道 龍一

783-4625

上尾同志会 幹事長／議会運営副委員長
文教経済常任委員会／議会改革委員会

取組

一般質問で新たな自主財源の確保策として、ネーミングライツ事業を提言し、この度令和4年4月より市内企業であるUDトラックスが上尾市民球場の命名権を取得し、「UDトラックス上尾スタジアム」に生まれ変わります。ネーミングライツとは、スポーツ施設などの名前に企業名や社名ブランドをつけることであり、公共施設の命名権を企業が買うビジネスであり、企業側は、施設の命名権とそれに付随する権利を得ることができ、施設を管理している行政側は、契約金を得て施設運営に充てることができます。結果として、毎年支出していた一部の維持費を、新規事業や需要が多く不足額が生じている既存事業に充てる事ができます。今後ともネーミングライツ事業を含めた新たな自主財源の確保策を行政に提言してまいります。

今後

市内全通学路の安全点検を再度要望し、危険と思われる通学路には早急な対策を求めると同時に、大石南小学校通学路において300mに及ぶ新たな歩道整備のための予算措置が実現しました。



おばな あきひと

尾花 瑛仁

773-7033

議会改革特別委員長／R4年度 予算特別委員長
議会運営委員会／都市整備消防常任委員会

取組

埼玉県と上尾と伊奈の連携を訴え、生活に具体的変化を生む「提案型」活動を続けています。
 ◎避難所開設キットを全指定避難所へ導入 ◎災害時職員参集システム実装 ◎職員の昇進に筆記試験導入を要望 ◎水上公園跡地利用として「水に親しめる施設」案を県に提出 ◎仲町公民館新設と消防小屋新設 ◎上尾小学校周辺道改修と耐震水道管敷設 ◎イオン周辺歩道整備を段階実施 ◎ムクドリ対策機器導入◎環境センター炉の破損対策実現 ◎新環境センター計画 施設単体でなく周辺道を含む面整備で工業エリア化検討を打診 ◎「議員間討議」の導入推進 ◎議会と大学の連携を提案 ◎投票所に高校生ボランティア制度を導入 ◎駅周辺に小規模保育を新設＆保育園増設を要望中 ◎子を駅に預け各園に送迎する「ステーション」制度を提案。

今後

自民党上尾支部長として、愛する地域や国の将来を 住民が自ら選択する為に必要な 情報や意見交換の場を作ります。国際社会の秩序の為に日本が必要な行動を取るよう地域から要請を続けます。



わたなべ こういち

渡辺 綱一

723-3938

上尾市議会 議長
都市整備消防常任委員会

取組

日々、皆様のお声をお聞きし、市政発展に努め、令和3年12月定例会にて、議長に就任いたしました。職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。上尾市発展に向けた議会運営に最善の努力を尽くしてまいります。皆さまの市議会に対する理解や関心をより深めていただくように開かれた議会を目指し、内容の充実を図り、議会情報の迅速な提供に努めて参ります。 ◎令和3年6月定例会での一般会計補正予算についての質疑を行いました。◎デジタルサイネージ設置箇所、配信内容、想定耐用年数とランニングコスト ◎市内公共施設等のトイレ非接触化改修工事の詳細 ◎押印等を求める行政手続の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定での対象書類、押印が必要な書類の抽出基準、今後の書類作成時の基準等。

今後

上尾伊奈広域ごみ処理施設計画、並びに周辺インフラの整備、原市沼調整池整備、瓦葺地区の土地活用、文化財の保全・活用、空家対策、消防行政全般の強化等について推進します。



たじま じゅん

田島 純

708-6339

議会報編集委員長／文教経済常任副委員長

取組

コロナ禍における大石地区の飲食店に対し、埼玉県中小企業対策支援部署や上尾市商工課と連携して、お困りごと相談や感染拡大予防対策の徹底等、地元飲食店の皆さまに寄り添う支援活動を続けて参りました。コロナ禍を乗り越え、1日も早く飲食店が賑わいを取り戻せるよう引き続き地元地域の皆さまと共に課題としっかり向き合って参ります。◎「上尾市ICT化推進計画」導入に向けたロードマップを問い、実際に運用していく際の課題・問題点、ワークライフバランス向上や学び直し、育児・介護と仕事の両立等、勤務形態の多様性に対応した働き方改革を提言 ◎自治会役員、大石子ども会役員、地域防犯パトロール、自警消防団員、地域支え合いの会活動、鴨川水辺のサポーターの会等、地元 に密着した地域活動を実施。

今後

地元自治会と情報交換・連携を密にして諸課題の解決を目指します。また、議会報編集委員長として上尾市議会・議員活動の広報を促進することに尽力します。



こいけ ゆうや

小池 佑弥

671-7789

上尾同志会 広報担当
総務常任委員会／議会報編集委員会

取組

地方自治体の人口減少が問題となっている中、人口増加が続く上尾市に健在する「発展の機会」を逃がすことなく捉え政策に結びつけるため、様々な地域活動で得たネットワークや知見を活かしながら活動しています。 ◎政策の適切な効果検証のため、コロナ禍の市民の志向変化を捉えた市民幸福度調査の実施を提案 ◎あらゆる感染症に対応するための市独自の保健所設置を含めた対策の調査・検討を要望 ◎ポストコロナを見据えた市職員の業務最適化を要望 ◎民間による「つながり創出」を目的としたイベントへの支援強化 ◎発信力の高い市民と連携したSNS広報施策を提案 ◎SNS解析ツールを用いた広報の運用改善を提案 ◎火災予防運動縮小の見直しを要望 ◎火災予防運動における住民理解促進の工夫を要望。

今後

若い世代の声を反映できる仕組みの構築を目指すとともに、最新のトレンドを取り入れた政策提案を積極的に行います。また、ICT化推進や市内経済の刺激策、気候変動への取組を推進します。



はらだ よしあき

原田 嘉明

726-4870

上尾同志会 政務調査担当
健康福祉常任委員会／議会改革特別委員会

取組

◎領家地区通学路危険個所のグリーンベルトを実現し、更に道路拡幅を交渉し予算化 ◎通学路の注意喚起の道路標示改修を実現（大石・平方地区等） ◎上尾駅西口付近の自転車道の整備 ◎荒川築堤の質問や要望を重ね国土交通省への市長の行動を促し、コロナ禍の為、郵送での要望書提出を実現 ◎内水対策をまとめる部署設置を要望。道路課、河川課が組織改編 ◎企業版ふるさと納税の活用を訴え実績が表れ、更なる活用に向け、リーズナブルな費用のベンチャーコンサルタントの活用等を提案 ◎取組んできた不登校児への対応が学習用端末の配置で前進 ◎ハザードマップを進化させガイドブックと市全域マップに分け、より活用し易い形に進化。

今後

道路改良や整備、通学路の安全確保、防犯・防災力強化、水害危険地域の個別ガイド作成、市施設の設備・キッズスペースの整備等の充実と標準化、市に能動的な行動を促し、国・県への要望等、積極的に取組みます。



たなか かずたか

田中 一崇

771-3228

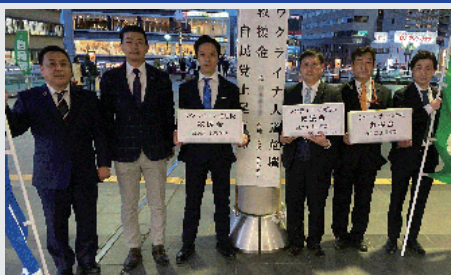
上尾同志会 代表／総務常任委員長／学校施設更新計画調査特別副委員長
議会運営委員会

取組

幼児教育・小中学校等の子育て環境向上により、多世代が住み続けたい上尾市を創って参ります。 ◎コロナ禍の影響を鑑み、市財政運営について質問、新規大型倉庫のオープンにおける市税増加に伴い、有効活用の提案要望を行う ◎保育・教育機関のコロナ禍の影響を検証、必要物質の配給要請 ◎西宮下中妻線始点変更の取り組み ◎15歳以下インフル接種無償化の推進 ◎戸崎公園トイレ設置の実現と災害避難時の周辺休耕地の活用を提案 ◎子育て世代定住促進強化 ◎妊婦への面接相談・支援体制強化を推進実現 ◎公立幼稚園の今後・職員の配置等終園に向けて方向性の確認 ◎市道の修繕及び交差点付近の縁石・自転車通行帯の配慮・要望。

今後

会派代表として、上尾市発展に努めます。地域代表である会派所属議員と連携を図り、各地域の問題を吸い上げ、議会に提案します。また、コロナ禍に鑑み、企業・困窮者支援体制の強化を目指します。





TOPIC

【ウクライナ情勢】人道危機救援金の募金活動を実施

今回の侵略は欧州のみの出来事でなく、日本周辺の安全保障にも波及しかねない深刻な事態です。我々は、地方議会の立場から「侵攻に抗議する決議」を採択。また、ウクライナへの食料・水・医薬品・機器の支援などの避難民の受け入れに活用される募金を実施し、多くのご支援を頂きました。歴史上の転換点となりうるこの侵略戦争をふまえ、人権と安全保障について、国民による議論の場作りや、地方議会として可能な働きかけに努めてまいります。